

# 見守りネットワーク活動

要支援者に対して、近隣住民、福祉委員、ボランティア、民生委員等が連携して声かけ・訪問等を行い、問題の発見時には必要に応じて問題を共有し、解決のための話し合い（調整）を行うことができるような組織的な活動

他の制度外サービスの基盤となるサービス

[ 県内実施率 ]

約 51%

( 約 2,721/5,359  
自治会等内で実施 )

## 事例 2

### 近隣見守りネットワーク活動（旧神岡町）[ 飛騨市 ]

市民児協事務局を兼ねる飛騨市社協の支援のもと、旧神岡町全域（192 自治会内）において、民生委員と民生委員からの推薦により委嘱された福祉協力員により、日常的にひとり暮らし高齢者など地域の要支援者の見守りを行うとともに、定期的に（月 1 回）機関誌の配布を兼ねて福祉協力員が要支援者世帯を訪問

活動開始

平成 9 年

活動内容等

実施範囲：飛騨市旧神岡町域内

見守り活動員

- ・ 民生委員：30 人
- ・ 福祉協力員：152 人

民生委員からの推薦により、市社協会長が委嘱  
無償のボランティア

各民生委員が、見守り活動に協力してもらえる人を個人的な繋がりの中から推薦するケースが多い。任期は民生委員の任期に併せて 3 年で、民生委員の交代に併せて福祉協力員も交代するケースも多い、とのこと。推薦・委嘱人数も、各民生委員の任意

見守り対象者（要支援者）

- ・ ひとり暮らし高齢者等：488 人

見守り対象とする要支援者は、福祉協力員からの情報等をもとに、各民生委員が選定

見守り体制

- ・ 日常的：民生委員及び福祉協力員が見守り、問題の発見時には民生委員へ連絡し、民生委員から必要な支援へ繋げる。福祉協力員による見守り方法にルールは無く、「できることをやっていただく」こととなっている。

福祉協力員の受け持ち要支援者、受け持ちエリアが実質的にはあるが、明確化しないことで、各福祉協力員の負担感を軽減

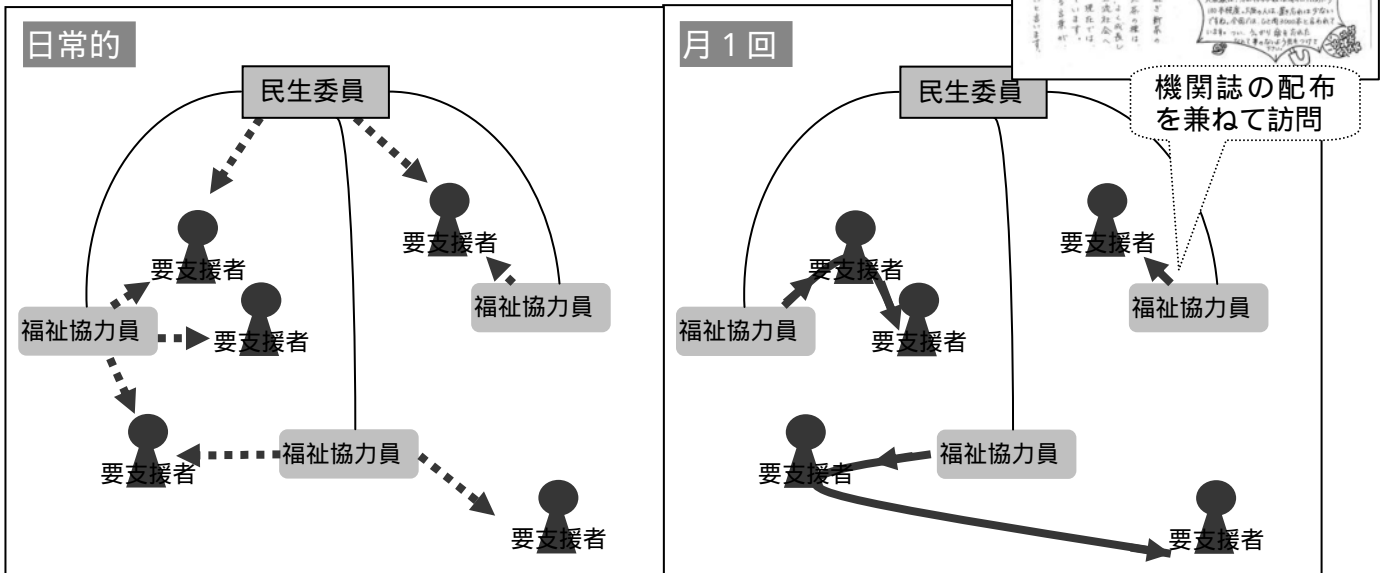
- ・ 月 1 回：各福祉協力員が手分けし、機関誌「かたらい」の配布を兼ねて、すべての要支援者世帯を訪問

「かたらい」：飛騨市社協・発行、神岡地区民児協女性委員会・編集

|          |   |                |  |  |
|----------|---|----------------|--|--|
| H21 年度予算 | 平成 21 年度市社協収支予算のうち、見守りネットワーク活動に係るもの   |                |  |  |
|          | 収入  |                | 支出   |  |
| 市社協事務費   | 50,000 円<br>・ 30,000：共同募金が財源<br>・ 20,000：社協会費が財源  | 機関誌発行<br>会議お茶代 | 30,000 円<br>・ 紙代<br>20,000 円<br>・ ブロック別研修会 |  |
| 計        | 50,000 円  | 計              | 50,000 円                                   |  |
| 活動開始の経緯  | <p>平成 9 年度、旧神岡町民生児童委員協議会事務局を兼ねる旧神岡町社協が、民生委員との連携のもと、福祉協力員を配置し、「近隣見守りネットワーク」体制を確立</p> <p>[ポイント]</p> <p>「 従来から活発に活動していただいていた民生委員を中心に組み立てたことが、見守り活動の円滑なネットワーク化に繋がったと考えている。また、現在でも市社協が市民児協事務局も兼ねており、民生委員との連携や支援も円滑」（飛騨市社協職員）</p> <p>市社協事業として、福祉協力員の委嘱の他、年 1 回、全民生委員及び福祉協力員を対象に、情報交換、民生委員と福祉協力員相互の活動方法の確認、研修などのため「近隣見守りネットワークブロック別研修会」を開催</p> |                |  |  |
| 問い合わせ先   | 飛騨市社会福祉協議会<br>TEL 0577-73-3214 FAX 0577-73-0711   |                |  |  |

平成 21 年 3 月 31 日現在

近隣見守りネットワーク活動（旧神岡町）イメージ図



月 1 回の機関誌の配布を兼ねた世帯訪問



ブロック別研修会

